

地域資源の活用・磨き上げによる観光振興(観光地域づくり)						
1 地域資源の活用・磨き上げ・情報発信						
整理番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績	成果	担当課
1	農業資産の魅力発信ふらっとフォーム構築事業	疏水(農用用水)、棚田、ため池など農業資産の魅力を発信し、観光資源等として活用するため、プラットフォーム(魅力発信の基盤)の構築及びプラットフォームを活用した有効な情報発信を行う。	1,948	・地域で活動する多様な主体との協働による農業資産の魅力を紹介するPR動画を制作(3本)。 ・PR動画をYoutube、県庁・銀座NAGANO、しあわせ信州エリアニュース、上田電鉄上田駅の他、イベント等で放映。 ・当地域への観光誘客等に繋がる情報発信ができた。		農地整備課
13	「つながる灯り」キャンペーン	令和元年東日本台風(台風第19号)災害で落ち込んだ地域内観光需要の喚起を図るため、観光関係団体との連携により「灯り」をキーワードに、観光資源の磨き上げや情報発信等の観光イベントを実施する。	463	・市町村、観光団体、市町村等と連携して観光キャンペーンや復興イベント、インスタグラムキャンペーン等を実施。 ・元気な上田地域をアピールするとともに、復興に向けた地域関係者の気運醸成を図ることができた。		商工観光課
2 ヘルスツーリズム等の推進						
2	上田地域の特色を活かした体験型・滞在型ツーリズムの推進	高原・温泉等の観光資源や取組を活かして、旅をきっかけに心身がリフレッシュし、健やかになれる体験型・滞在型観光コンテンツの充実を図り、地域づくりに活かすため、引き続き官民学協働の「信州上田地域健康パーク(上田地域型ヘルスツーリズム)推進協議会」を推進母体として、観光資源を磨き上げる検討・検証を行う。	112	・推進協議会を4回開催し、現地視察・体験を通じ、官民学協働で体験型・滞在型・周遊型観光コンテンツの充実について検討。 ・関係者間の連携が強化され、管内各地で地域特性を活かした観光地域づくりに向けた取組が始まり出した。また、東日本台風災害時には、構築した連携を基に情報収集や復興イベントの開催を円滑に進めることができた。		商工観光課
3	世代別健康に配慮したメニュー開発・普及	食を通じた健康づくりと地域の活性化を図るため、世代別健康に配慮した料理の検討、開発を行い、そのレシピと実践のための情報をまとめ、脂質・食塩摂取量の抑制と野菜摂取量の増加等の啓発媒体を作成する。また、作成した媒体を活用し、料理講習会等を行うなど普及啓発を図る。	1,245	・子育て世代(幼児・小中学生編)向けの健康に配慮したメニューの開発及びリーフレットを作成(各2,500部)。 ・世代別メニューの普及料理講習会を開催(18講座・参加者463人) ・講習会参加者の98%が「食生活に気をつけようと思った」と回答し、健康に配慮した食生活の実践への機運が醸成され、食を通じた健康づくりを推進することができた。		保健福祉事務所
4	働き盛りのための運動セミナー	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と、運動を自発的かつ習慣化することによる健康の維持を図るため、企業や各種団体等に働きかけ、働き盛り世代を対象とした運動教室及び指導者講習会の開催、文化財を巡るウォーキング支援等、日常的にスポーツに親しむきっかけづくりや環境づくりを行う。	198	・運動教室への講師派遣(8回、参加者数217人)、運動セミナー体験講座の開催(1回、参加者数14人)、運動用具の貸出(10回)、文化財ウォーキングマップの活用推進。 ・働き盛り世代へのスポーツ活動の習慣化を促進するとともに、保健福祉事務所と連携して運動と食育を併せた運動教室を開催したことにより健康意識の醸成を図ることができた。		東信教育事務所

交流と地消地産や産業振興による地域の活性化

1 多様な人材の定着・交流促進

整理番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課
5	上田地域移住・交流促進事業	若者や子育て世代にターゲットを絞り、管内市町村との共催による首都圏での移住セミナーや移住体験ツアーを開催する。移住希望者向けアンケートを継続実施し、現状分析を行うとともに、地域が求めるターゲットに向け、移住に関する情報発信方法について研究を進める。	63	・管内4市町村を巡る移住体験ツアーを開催(参加者5組)及び参加者アンケート調査を実施。 ・2月に開催を予定していた首都圏での移住セミナーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止したが、参加希望者(25組)に対して管内の移住に関する情報提供を実施。 ・移住体験ツアー参加者のうち、1組が管内へ移住、1組が首都圏との二地域居住を開始した。また、アンケート調査により移住希望者が叶えたいライフスタイルや支援策等を把握し、管内市町村の移住施策の検討に当たって参考にしてもらうことができた。	企画振興課
6	地域プレインターンシップ構築事業	現在、3年次に約2週間のインターンシップを実施している長野大学に委託して、地元企業での企業見学と短期間で行うインターンシップを実施する。 大学と企業が連携しながら、効果的なプログラムを構築できるよう、参加学生と受入企業にアンケートを実施して、双方の課題を整理する。	1,150	・上田地域の企業への就職意欲の促進効果を検証するため、企業見学と短期のインターンシップを行い、参加学生及び受入企業にアンケート調査を実施。 ・管内の経済団体、教育機関及び行政機関に調査結果を報告し、管内大学生の当地域への定着に向けたプログラム構築に寄与することができた。	企画振興課
7	若者の定住・就業促進策の研究	当地域の特徴である大学等の集積を活かし、若者に対する魅力ある街づくりを推進するため、上田地域内の大学等と協働して、若者の定住・就業促進に必要な支援策や環境整備策等について研究する。	1,322	・管内の大学等の学生を対象に希望進路や居住地域に関する意識調査及び企業経営者等を対象に若者の定住・就業に対する考え方等について聞き取り調査を実施。 ・若者の定住・就業促進に必要な支援策等の検討に向けて、経年動向として学生の当地域に対する意識や将来の暮らしのあり方についてのデータを蓄積することができた。	商工観光課
8	若者の地域への就業促進	中学校での利用を念頭に、上田地域の産業・企業、そこで働く人の姿を紹介する教材を作成するとともに、産学官連携によるキャリア教育支援の実践方法について研究・提言し、上田地域での就業促進に役立てる。	478	・事業者(2社)及びキャリア教育に成果を上げている管内中学校(2校)へのヒアリング調査を実施。 ・プロジェクト会議を5回開催し、中学校が商工団体等の地域関係者と連携して実施しているキャリア教育について調査・研究を実施。 ・産学官連携によるキャリア教育支援の実践方法についての課題・方策等を報告書としてまとめることができた。	商工観光課

2 地消地産の推進

9	農産物直売所の魅力アッププロジェクト	農産物直売所の情報発信力・知名度の向上及び魅力アップを図るため、相互交流による連携強化、魅力アップ対策等の検討、研修会の開催等を実施する。 併せて、直売所の利用者数及び売上額の増加を目指す。	399	・農産物直売所実態調査として、8店舗で237名の利用者からアンケート方式による聞き取り調査を実施した。 ・利用状況、購入額等を把握するとともに、要望事項や課題等を明確化し、直売所と共有することにより、各直売所の経営改善及び魅力アップ等に寄与することができた。	農政課
10	上田で進めるジビエの未来開拓事業～シカ肉の魅力をもっと多くの皆さんへ～	ジビエ料理の一般消費者に対する需要拡大のため、管内のジビエ料理提供店が上田市内で開催されるイベントに出店し、来店者に販売提供することを支援するとともに、管内のジビエ料理取扱店の情報を発信する。	297	・イベントでのジビエ料理の販売提供支援によるPRを実施。 ・管内のジビエ料理取扱店情報を掲載したクリアファイルの作成(3,000部)、配付。 ・消費者へのジビエの需要拡大に繋がる周知ができた。	林務課

3 ワイン産業の育成・振興

11	千曲川ワイン振興プロジェクト	千曲川ワインバレーの知名度アップを推進するため、パンフレットの配付を行うとともに、新たにワイナリーマップを作成する。	513	・ワインパンフレットの配布及びワイナリーマップの制作(25,000部)、配布を実施。 ・千曲川ワインバレー東地区の魅力の更なる発信を行い、当地域への観光誘客に寄与することができた。	商工観光課
----	----------------	--	-----	---	-------

4 林業振興と東信カラマツの販路拡大

12	森林認証材利用拡大推進事業	SGEC森林認証・認証材を地域内や首都圏等においてPRし、普及浸透と利用拡大を図る。	100	・佐久地域等と連携し、地域内や首都圏で森林認証材のPR活動等を実施。 ・管内の民間企業事務所、県内の首都圏自治体保養施設において、上田地域の認証材による施設整備が行われ、県民等の消費者に対する認証材の普及浸透が進んだ。	林務課
----	---------------	--	-----	--	-----

合計

事業費
(千円)
8,288